



CO2削減のきっかけづくり
観光地を巡るサイクリングマラソン

- 開催日 → 21年9月20日
- 開催場所 → 須崎市 多ノ郷甲
桐間池公園
- 主な活動メンバー
青年会議所メンバーとマラソン参加者
- 【ホームページ】
<http://www/5d.biglobe.ne.jp/~susakijc/>

日本政府は、京都議定書により2008年から2012年の間に6%削減を目指しているが、現状では、「2005年の温室効果ガス排出量は、京都議定書の基準年（1990年）よりも8.1%増加しており、このままでは目標達成は困難である」といわれています。（WWFジャパン2007年10月の提案書より）
そこで須崎青年会議所では、普段私たちが乗っている自動車の代わりにCO2排出ゼロの自転車に乗ってCO2 6%削減を目標として掲げました！

(取り組み内容)

◆事業名：ecour de Susaki (エコールドスサキ)
サイクリングマラソン

◆活動目的

自転車に乗って運動することにより、地球温暖化防止を参加者の一人一人に考えてもらい、かつ市民にCO2削減について啓発することを目的とする。

◆サイクリングマラソン

自転車に乗って須崎市内の観光スポット5か所を巡る。

桐間公園 → 道の駅 → 樽の滝 → 桑田山温泉
→ 桐間公園（昼食）→ 大谷の樟（クス）→ 桐間公園



※ 計 42,195 kmのサイクリング!

【開催日】 21年9月20日 (日)

【参加総数】 123名

※会場ではエコカーの展示なども実施。



サイクリングマラソン参加の呼びかけ



路線延長(暫定距離) 42.195 Km

◆参加者状況

総数 123 人	19才以下 10 人 9%
須崎市内 23 人	20代 5 人 4%
須崎市外 100 人	30代 30 人 29%
高知 88 人	40代 21 人 19%
香川 5 人	50代 21 人 19%
愛媛 3 人	60代 19 人 17%
徳島 4 人	70代 4 人 3%
男性 104 人	最年少6才,最年長75才
女性 19 人	

コースマップ



◆サイクリングによるエネルギー効果

- ☆CO2：11.5kg（家庭用電力5日分！）
- ☆消費カロリー：1500kcal（ご飯6杯半分！）



※サイクリングは温暖化防止だけでなく
メタボ防止にも効果的！

【CO2排出削減量】

一人当たり、年間155キログラムのCO2排出量が削減可能です。

基礎資料

- 自家用自動車1台当たりの年間走行距離 9590キロメートル
- 自家用自動車1台当たりの平均燃費 8.53キロメートル/リットル
(2001年度、資源エネルギー庁作成)
- ガソリン1リットルのCO2排出量 2.3kg
(省エネルギーセンター)

以上から計算すると年間走行距離9590kmの6%である575.4kmを自家用自動車の年間走行距離から削減した場合、年間67.45リットルのガソリン消費を抑えることで、年間の約155キログラムのCO2排出量を削減することができます。

つまり自動車に乗らず1日に1.57キロメートル以上自転車に乗れば目標を達成することが出来るのです。

◆参加者の声（アンケート）

- ・各チェックポイントでの給水は助かりました
- ・食事も量が多くてすごくおいしかったです
- ・新庄川がすごくきれいででっかい鯉が見れたり、山道が気持ちよかったです！
- ・ちょっとそこまでも車で移動してましたが、自転車を利用しようと思います。



◆実行委員長所見

- ・地球温暖化防止の啓発として起案した事業。今回のサイクリングは地域ボランティア活動の反響から概ね市民に受け入れられたと考えられる。
- ・事業目的を達成するためには今後も通勤時のサイクリング等を通じて身近な自転車の有用性を市民にアピールする必要性が否めない。
- ・コースに地域の観光資源を利用することにより、環境問題への分かりやすい問題提起と、副産物としてお接待精神の大切さを確認できた。

（平成21年10月現在）